

原料費調整制度に基づく  
平成22年12月のガス料金について  
(越路地区)

平成22年10月28日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、「原料費調整（スライド）制度」に基づいて平成22年12月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成22年11月検針分に比べて従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.08円（税込）引き下げさせていただくこととなりました。

月間のガスご使用量が45m<sup>3</sup>の標準的なご家庭で、平成22年11月適用料金と比べて1カ月あたり4円（税込）の引き下げとなります。

今回のガス料金の調整は、平成22年7月～9月のLNG平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格が、前期（平成22年6月～8月）より下がったことによるものです。

なお、平成22年12月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ（検針票）」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<問い合わせ先>  
北陸ガス株式会社  
総合企画グループ 担当 渋谷  
TEL 025-245-2214

<別紙>

## 料金表（平成22年12月）

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

平成22年11月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり0.08円（税込）の引き下げとなります。

また、基本料金は変わりません。

（税込）

	月間使用量区分	基本料金（月額）	従量料金（1m <sup>3</sup> につき）
料金表A	0m <sup>3</sup> ～25m <sup>3</sup> まで	672.00円	112.99円
料金表B	25m <sup>3</sup> 超～250m <sup>3</sup> まで	714.00円	111.31円
料金表C	250m <sup>3</sup> 超～	1,572.90円	107.87円

### 【ガス料金の計算式】

1カ月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 従量料金単価

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

（税込）

ご使用量	平成22年12月料金	平成22年11月料金	増減額	増減率
45m <sup>3</sup>	5,722円	5,726円	▲4円	▲0.07%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1カ月あたり平均（平成13年度～17年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	平成22年7月～9月原料価格	平成22年6月～8月原料価格	基準原料価格
LNG平均価格 （貿易統計値）	50,090円/t	50,540円/t	51,520円/t
平均原料価格	13,520円/t	13,650円/t	13,910円/t

### ■平均原料価格の算定

平均原料価格 = LNG平均価格（平成22年7月～9月貿易統計値） × 0.2700

= 50,090円/t × 0.2700

= 13,524.300円/t

↓（10円未満四捨五入）

13,520円/t

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 13,520\text{円/t} - 13,910\text{円/t} \\ &= \blacktriangle 390\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{100円未満切捨て}) \\ &= \blacktriangle 300\text{円/t} \end{aligned}$$

■調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned} \text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \blacktriangle 300\text{円} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times 1.05 \\ &= \blacktriangle 0.2394\text{円} \\ &\quad \downarrow (\text{小数点第3位以下の端数は切り上げ}) \\ &= \blacktriangle 0.24\text{円/m}^3 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.0798円(0.076円に1.05(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり▲0.24円(税込)調整します。
- 平成22年11月に適用される従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり0.08円(税込)の引き下げとなります。